

学校自慢

独自教科「塩浜ふるさと防災科」による 質の高い学びと一貫教育の推進

市川市立塩浜学園校長

いしだ きよひこ
石田 清彦



1 「塩浜ふるさと防災科」

(1)概要

「塩浜ふるさと防災科」は、地域に誇りと愛着をもった思いやりのある豊かな心と、自主的に問題解決を行い、たくましく生きる力を育成する本校独自の教科である。

各教科、領域等で身に付けた力を活用して、質の高い学びを創造する教科として、教育課程の中核に位置づけて推進している。推進にあたっては、①人間としての生き方に迫る②地域への理解と愛着を深める③防災リテラシーを身に付ける④科学的理解を深めるの4点を視点として、総合的な学習の時間全てと特別活動の5時間を活用して、3～9学年で実施している。

(2)導入の経緯

義務教育学校である本校では、一貫教育推進の軸となる教科が必要であった。小・中学校の教職員には価値観に大きな壁があり、協働してカリキュラム開発を行うことにより、教育課程の構造的理解を踏まえた指導の一貫化が図られると考えた。また、教科内容の「ふるさと」と「防災」は、地域の実態を踏まえて設定した。地域は東日本大震災時に液状化の被害が大きく、防災に対する関心が高いとともに、学校と関わりながら子供を育てていこうとする意識が強く、地域の教育力を生かした学習は、学びの深まりにつながると考えた。

2 「塩浜ふるさと防災科」の取組

3～7年生は学習内容を次のように重点化して、学びの積み重ねを大切にしたい取組を進めている。

(1)3～7年生の学習内容

3～7年生の学習の重点

学年	内容	学習の重点
3年生	「ふるさと」「防災」	○どのような学習を進めていくのかを示す ・調べ学習の進め方 ・タブレットの使い方 等
4年生	「ふるさと」 (海洋教育)	○地域をより身近に、より具体的に学ぶ ・船上学習 ・三番瀬環境学習館見学 等
5年生	「防災」	○防災科の深化 地域の方へインタビュー ・災害時の備え 等
6年生	「ふるさと」	○自分たちができることを深く追究する ・ハリアプリーの状況 ・地域の行事 等
7年生	「防災」	○5年生で学んだ防災科の深化 ・地震のメカニズム ・塩浜の被害想定 等

(2)8・9年生の学習内容

8・9年生は縦割りによるゼミ形式を導入し、実践的な学習を通して、主体的・対話的で深い学びの具現化に取り組んでいる。

8・9年生のゼミのテーマ

防災科	ふるさと科
A 防災に関連した資格の取得	D 三番瀬をまもるために
B 自分たちで企画・運営する避難訓練	E 塩浜地区の少子高齢化対策
C 次の災害に備え、自分達にできること	F 地域の行事の企画・運営

(3)塩浜ふるさと防災科ゼミBの実践

- ①情報収集と企画
・ 専門家のお話を聞く
・ 企画について話し合う
・ 消防署に助言を求める



②実践

- ・ 1～9年生の縦割りグループで一次避難
- ・ ゼミ生徒が各学級を先導して二次避難（津波対策として4階へ）

- ・ 消防署の講評

③発信と交流

- ・ 塩浜ふるさとゼミ発表会
- ・ 異校種で発表



3 一貫教育推進の軸としての効果

導入から4年目を迎え、「塩浜ふるさと防災科」は前・後期課程の教員が、共に話し合い、協働して取り組む教科に成長しており、一貫教育推進の大きな軸となっている。



全教員による研究会